

# 教育警察常任委員会

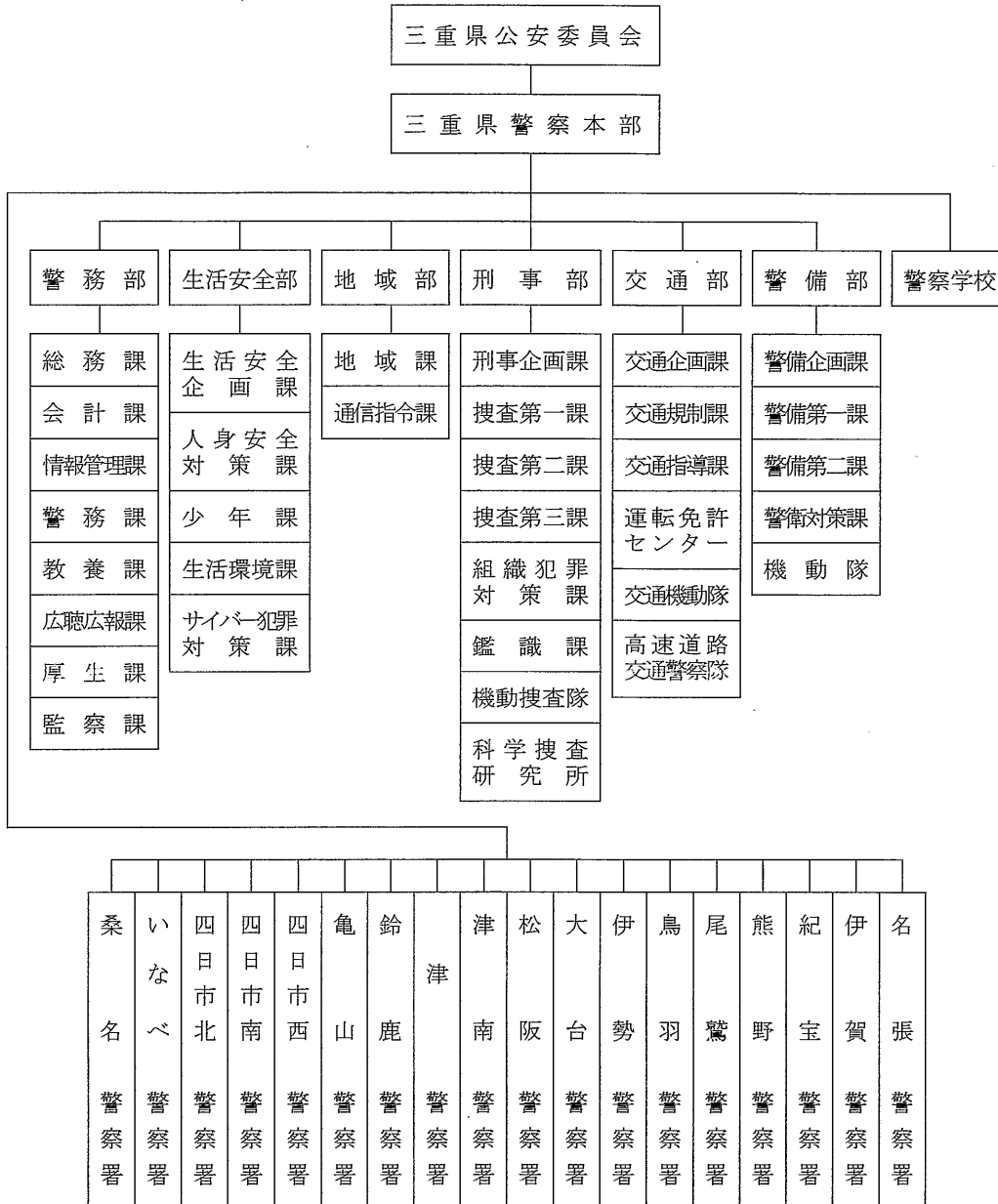
## 所管事項概要説明

- 1 令和元年三重県警察運営の重点目標について
  - ・ **資料1** 三重県警察の組織 ..... 1頁
  - ・ **資料2** 平成31年三重県警察運営の重点目標 ..... 2頁
  
- 2 令和元年度警察費当初予算及び主要事業について
  - ・ **資料3** 令和元年度警察費当初予算及び主要事業 ..... 3頁
  
- 3 犯罪情勢について
  - ・ **資料4** 犯罪情勢（平成30年中） ..... 6頁
  
- 4 総合的な犯罪抑止対策について
  - ・ **資料5** 総合的な犯罪抑止対策 ..... 7頁
  
- 5 地域警察活動について
  - ・ **資料6** 地域警察活動 ..... 8頁
  
- 6 交通事故情勢と抑止対策について
  - ・ **資料7** 交通事故情勢（平成30年中）と抑止対策 ..... 9頁
  
- 7 テロの未然防止に向けた取組と大規模災害等緊急事態に備えた対策の推進について
  - ・ **資料8** テロの未然防止に向けた取組と大規模災害等緊急事態に備えた対策の推進 ..... 10頁

令和元年5月  
警察本部

三重県警察の組織

平成31年4月1日現在



桑名警察署	いなべ警察署	四日市北警察署	四日市南警察署	四日市西警察署	亀山警察署	鈴鹿警察署	津警察署	津南警察署	松阪警察署	大台警察署	伊勢警察署	鳥羽警察署	尾鷲警察署	熊野警察署	紀宝警察署	伊賀警察署	名張警察署
-------	--------	---------	---------	---------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------

6部 34所属	1校	18警察署 59燐 141駐研
---------	----	--------------------

条例定員	警察官	3,079人
	一般職員	404人

## 平成31年三重県警察運営の重点目標

### 執務の基本方針

「県民と共に築く安全で安心な三重」の実現  
～ 強く・正しく・温かく ～

### 執行の重点

- 子供・女性を守る取組と犯罪抑止対策の推進
- 検挙の徹底に向けた的確な犯罪捜査の推進
- 交通死亡事故等抑止対策の推進
- テロの未然防止に向けた対策と大規模災害等緊急事態に備えた対策の推進
- サイバー空間の脅威に対処するための取組の推進
- 犯罪被害者等支援の推進

三重県公安委員会 ・ 三重県警察

## 「令和元年度警察費当初予算及び主要事業」

## 1 みえ県民カビジョン・第二次行動計画施策別予算額

## 令和元年度当初予算(みえ県民カビジョン施策別一覧)

【単位：千円】

事業	細事業名	R元当初(A)	H30当初(B)	増減(A-B)
112	防災・減災対策を進める体制づくり	114,881	183,386	▲ 68,505
	11202 災害対策活動体制の充実・強化	2,417	2,413	4
	11203 迅速な対応に向けた防災情報の共有化	112,464	180,973	▲ 68,509
141	犯罪に強いまちづくり	3,568,090	3,529,509	38,581
	14101 みんなで進める犯罪抑止活動と犯罪被害者等支援の充実・強化	190,204	144,539	45,665
	14102 犯罪の徹底検挙のための活動強化	420,180	402,516	17,664
	14103 県民の安全を守る活動基盤の整備	2,957,706	2,982,454	▲ 24,748
142	交通事故ゼロ、飲酒運転0(ゼロ)をめざす安全なまちづくり	2,855,684	2,664,361	191,323
	※2月補正予算含み	(2,886,804)	(2,664,361)	(222,443)
	14201 交通安全意識と交通マナーの向上に向けた啓発・教育の推進	1,181,066	1,107,951	73,115
	14203 安全で快適な交通環境の整備	1,528,124	1,432,458	95,666
	※2月補正予算含み	(1,559,244)	(1,432,458)	(126,786)
	14204 交通秩序の維持	146,494	123,952	22,542
行政運営7	公共事業推進の支援	986	1,187	▲ 201
	40701 公共事業の適正な執行・管理	986	1,187	▲ 201
その他		31,111,489	30,651,473	460,016
	警察費	37,651,130	37,029,916	621,214
	※2月補正予算含み	(37,682,250)	(37,029,916)	(652,334)

## 2 特定政策課題枠(社会経済情勢の変化等への対応)

事業名	令和元年度当初予算額
少年警察費(SNS等に起因する犯罪被害防止対策事業)	1,900千円
速度違反自動取締装置維持管理費(いのちを守るスロー・ダウン作戦)	21,600千円



政策名、施策名及び事業の内容	担当課
<p>3 警察官駐在所等整備費 <span style="float: right;">51,952千円</span></p> <p style="text-align: center;"><b>【基本事業名：14103 県民の安全を守る活動基盤の整備】</b></p> <p>(第9款 警察費 第1項 警察管理費 4 警察施設費)</p> <p>治安の最前線で、地域住民の安心・安全のよりどころでもある交番・駐在所が、自然災害や各種事件発生時においても、その機能を発揮できるように施設の機能強化を図ります。</p>	会計課
<p>〈施策名：(142)交通事故ゼロ、飲酒運転0(ゼロ)をめざす安全なまちづくり〉</p> <p>1 交通安全県民力向上事業 <span style="float: right;">5,895千円</span></p> <p style="text-align: center;"><b>【基本事業名：14204 交通秩序の維持】</b></p> <p>(第9款 警察費 第2項 警察活動費 3 交通指導取締費)</p> <p>関係機関・団体等と連携した参加・体験・実践型の交通安全教育および広報啓発活動を推進し、交通事故抑止の原動力となる、交通安全に対する県民力を一層高めます。</p> <p>2 交通安全施設整備事業 <span style="float: right;">760,545千円</span></p> <p style="text-align: center;">(791,665千円 ※H30年度2月補正予算含みベース)</p> <p style="text-align: center;"><b>【基本事業名：14203 安全で快適な交通環境の整備】</b></p> <p>(第9款 警察費 第2項 警察活動費 4 交通安全施設整備費)</p> <p>老朽化した信号制御機や摩耗した横断歩道等の道路標示について、緊急性や優先度を勘案しながら、計画的な更新・塗り替えを推進します。</p> <p>3 (一部新)速度違反自動取締装置維持管理費 <span style="float: right;">35,132千円</span></p> <p style="text-align: center;"><b>【基本事業名：14204 交通秩序の維持】</b></p> <p>(第9款 警察費 第2項 警察活動費 3 交通指導取締費)</p> <p>生活道路や通学路における歩行者等の安全な通行を確保するため、可搬式速度違反自動取締装置(移動オービス)を活用した速度違反取締りにより、自動車の走行速度の抑制を図ります。</p>	<p>交通企画課</p> <p>交通規制課</p> <p>交通指導課</p>

## 犯 罪 情 勢（平成30年中）

## 1 刑法犯及び重要犯罪・重要窃盗犯

## (1) 刑法犯

認知件数はピーク時（平成14年47,600件）の約4分の1まで減少し戦後最少を記録した。認知件数の約75%を占める窃盗犯の減少（前年比-1,583件）が主な要因。

	H26	H27	H28	H29	H30	前年比
認知件数（件）	17,550	15,178	14,112	13,346	11,247	-2,099
検挙件数（件）	5,395	4,865	4,557	5,717	4,964	-753
検挙人員（人）	2,447	2,278	2,159	2,193	2,210	+17
検挙率（%）	30.7	32.1	32.3	42.8	44.1	+1.3P

## (2) 重要犯罪（殺人、強盗、強制性交等、強制わいせつ、放火、略取誘拐及び人身売買）

認知件数は減少傾向にあったが、性犯罪（強制性交等、強制わいせつ）が増加。

	H26	H27	H28	H29	H30	前年比
認知件数（件）	115	91	98	85	98	+13
検挙件数（件）	86	74	95	80	85	+5
検挙人員（人）	90	60	64	59	61	+2
検挙率（%）	74.8	81.3	96.9	94.1	86.7	-7.4P

## (3) 重要窃盗犯（侵入盗、自動車盗、ひったくり及びすり）

認知件数はピーク時（平成15年6,664件）の約6分の1まで減少し、検挙率は高水準を維持。

	H26	H27	H28	H29	H30	前年比
認知件数（件）	2,342	2,085	1,947	1,681	1,197	-484
検挙件数（件）	1,381	1,287	1,068	1,412	997	-415
検挙人員（人）	174	130	146	111	85	-26
検挙率（%）	59.0	61.7	54.9	84.0	83.3	-0.7P

## 2 特殊詐欺

認知件数は大幅に減少、被害額約1億4,000万円のオレオレ詐欺が発生し被害額は増加。

	H26	H27	H28	H29	H30	前年比
認知件数（件）	103	126	164	205	107	-98
被害額(万円)	63,140	59,280	51,960	30,550	38,960	+8,410
検挙件数（件）	27	32	18	29	63	+34
検挙人員（人）	10	15	17	14	19	+5

## 3 暴力団犯罪

暴力団勢力は減少傾向。暴力団関係者多数の野球賭博事件の検挙で検挙人員は増加。

	H26	H27	H28	H29	H30	前年比
暴力団勢力（人）	700	650	460	410	350	-60
検挙件数（件）	440	576	225	673	256	-417
検挙人員（人）	182	167	151	140	188	+48

## 4 薬物事犯

検挙人員は減少傾向。検挙人員の約2割が暴力団構成員等。検挙の約8割が覚醒剤事犯であり、近年は大麻事犯が増加傾向。

	H26	H27	H28	H29	H30	前年比
検挙人員（人）	155	143	129	117	112	-5
うち暴力団	64	54	47	38	26	-12
覚 醒 剤	140	128	106	99	84	-15
うち暴力団	62	52	42	37	25	-12
そ の 他	15	15	23	18	28	+10
うち暴力団	2	2	5	1	1	±0

## 5 来日外国人犯罪

検挙人員は窃盗、入管法違反等の検挙で増加。国籍別では、ベトナム、ブラジル、中国が上位。

	H26	H27	H28	H29	H30	前年比
検挙件数（件）	317	358	173	193	166	-27
検挙人員（人）	126	108	84	99	120	+21

注：来日外国人とは、我が国に存在する外国人のうち、いわゆる定着居住者（永住者、永住者の配偶者等及び特別永住者）、在日米軍関係者及び在留資格不明者を除いた外国人

## 総合的な犯罪抑止対策

### 1 地域の犯罪情勢に即した犯罪抑止対策の推進

- 犯罪発生実態の分析による犯罪抑止対策の推進
- 犯罪多発地域・時間帯におけるパトロール、駐留警戒など街頭活動の強化
- 地域住民等への防犯情報の提供

#### 〈重点犯罪の認知状況〉

区分 年次	合計	※空き巢	※忍込み	※自動車盗	※車ねらい	※部品ねらい	強わいせつ	オートバイ盗	※自転車盗	万引き	※特殊詐欺
		H26年	9,231	615	262	425	1,336	569	54	662	3,450
H27年	7,921	660	265	288	1,089	525	43	451	2,812	1,662	126
H28年	7,259	473	260	370	926	644	48	326	2,449	1,599	164
H29年	7,006	406	255	227	975	608	36	252	2,159	1,883	205
H30年	5,712	392	177	123	606	449	40	212	2,045	1,561	107
前年比	-1,294	-14	-78	-104	-369	-159	4	-40	-114	-322	-98

注：重点犯罪は平成30年まで10罪種としていたが平成31年は7罪種とした。※は平成31年の重点犯罪

### 2 官民一体となった犯罪抑止対策の推進

- 防犯ボランティア活動に対する支援の充実
- 企業等が行う防犯CSR活動に対する支援

注：CSRは、Corporate Social Responsibilityの略で、一般に企業の社会的責任と訳され、法令遵守、環境保護、地域貢献等、純粋に財務的な活動以外の分野において、企業が持続的な発展を目的として行う自主的取組をいう。

- 街頭防犯カメラ等の犯罪抑止インフラの整備促進

#### 〈防犯ボランティア団体の結成状況〉

区分	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	前年比
団体数	609	610	629	646	671	25
活動人員	35,353	36,330	36,559	36,584	36,095	-489

注：防犯ボランティア団体…平均月1回以上の活動実績があり、かつ、構成員が5人以上の団体

### 3 子供・女性を犯罪等から守る対策の推進

- 通学路や登下校時間帯等に重点を置いた見守り・パトロール活動の強化
- 声掛け、つきまとい等の性犯罪等の前兆事案等に対する先制・予防的活動の強化
- 参加・体験型の防犯教室、不審者侵入対応訓練の開催

#### 〈不審者情報の認知状況〉

区分	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	前年比
子供	550	496	434	426	550	124
女性	658	516	513	399	539	140
合計	1,208	1,012	947	825	1,089	264

注：子供…中学生以下の男女、女性…子供以外の女性全て

### 4 特殊詐欺抑止対策の推進

- 県民の警戒心・抵抗力を向上させる防犯指導・広報啓発の推進
- 防犯機能を備えた電話用機器の普及を始めとした被害に遭わないための環境整備の促進
- 金融機関、コンビニエンスストア等と連携した水際対策の強化

#### 〈特殊詐欺の認知状況〉

区分 年次	振り込み詐欺						振り込み詐欺以外の特殊詐欺						合計									
	オレオレ		架空請求		融資保証金		還付金等		計		金融商品等取引名目				異性交際あっせん名目		ギャンブル必勝法情報提供名目		その他		計	
	件数	被害額(万円)	件数	被害額(万円)	件数	被害額(万円)	件数	被害額(万円)	件数	被害額(万円)	件数	被害額(万円)	件数	被害額(万円)	件数	被害額(万円)	件数	被害額(万円)	件数	被害額(万円)	件数	被害額(万円)
H26年	21	5,920	39	17,960	8	1,090	3	320	71	25,290	18	27,480	1	850	3	640	10	8,880	32	37,860	103	63,140
H27年	24	7,990	55	23,250	7	1,550	14	1,340	100	34,130	21	22,060	1	570	4	2,530	0	0	26	25,150	126	59,280
H28年	36	11,610	51	17,960	8	900	51	4,560	146	35,020	15	15,890	0	0	2	930	1	120	18	16,940	164	51,960
H29年	46	10,570	127	15,400	10	850	17	1,470	200	28,280	1	400	0	0	3	1,270	1	600	5	2,270	205	30,550
H30年	25	18,300	73	18,850	5	960	3	350	106	38,460	1	500	0	0	0	0	0	0	1	500	107	38,960
前年比	-21	7,740	-54	3,450	-5	110	-14	-1,120	-94	10,180	0	100	0	0	-3	-1,270	-1	-600	-4	-1,770	-98	8,410

注：被害額は1万円単位を四捨五入



## 地 域 警 察 活 動

### 1 交番・駐在所の活動

交番、駐在所では、住民等の安全・安心を確保するため、パトロールや巡回連絡等の地域に密着した活動に加えて、事件・事故等への対応を行っている。

〈交番・駐在所等設置状況（平成31年4月1日現在）〉

	交番	駐在所
設置数	59	141

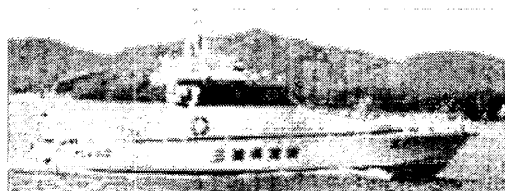
### 2 パトカー、警察用航空機及び警察用船舶の活用

全ての警察事象に即応するため、機動力の高いパトカー、警察用航空機及び警察用船舶を活用している。

【航空「いせ」】



【警備艇「あらしま」】



### 3 通信指令業務

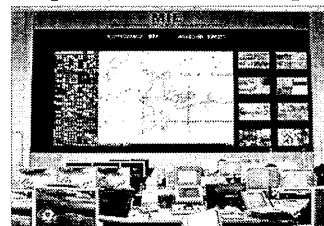
110番通報に迅速かつ的確に対応するため、指令室を設置している。

〈110番通報受理件数

（平成26～30年）

【指令室】

区分	26	27	28	29	30	前年比
受理件数(件)	109,156	110,560	106,862	103,244	102,598	-646
携帯電話(件)	81,858	84,717	82,869	80,113	81,048	+935
携帯電話構成比(%)	75.0	76.6	77.5	77.6	79.0	—



### 4 水難・山岳遭難発生状況

（平成26～30年）

【要救助者搬送訓練】

区分	年次	26	27	28	29	30	前年比
水難	発生件数	28	35	29	22	39	17
	水難者数	35	36	33	28	44	16
山岳	発生件数	69	61	57	57	51	-6
	遭難者数	87	80	73	76	61	-15

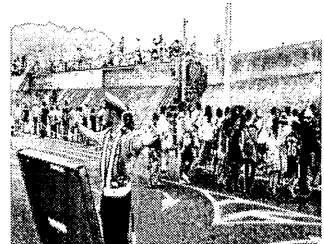


### 5 雑踏警備実施状況

（平成26～30年）

【雑踏警備】

区分	年次	延べ出動警察官数				
		26	27	28	29	30
祭礼、花火等施設外		4,790	4,146	3,585	2,821	2,785
興行場等施設内		264	408	538	1,148	901
公営競技場等		1,655	1,967	1,383	1,548	1,436
合計		6,709	6,521	5,506	5,517	5,122

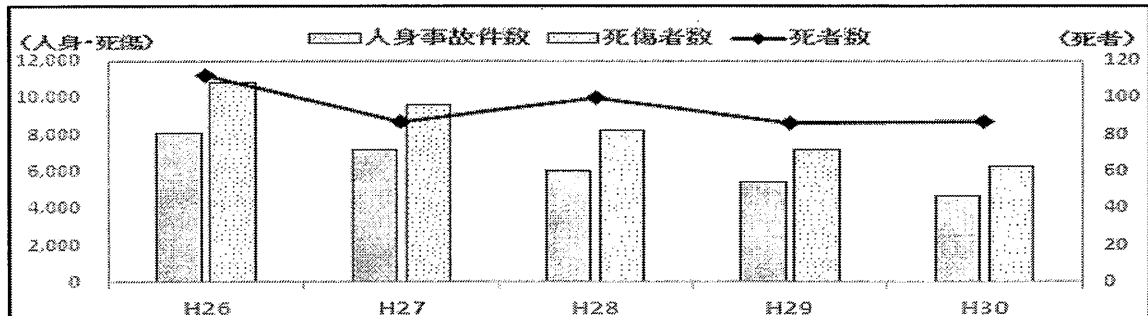


## 交通事故情勢（平成30年中）と抑止対策

## 1 交通事故情勢

## (1) 交通事故発生状況（過去5年）

	H26	H27	H28	H29	H30	前年比
人身事故件数	8,100	7,169	6,038	5,441	4,687	-75.4
死亡事故件数	109	86	98	83	82	-1
死傷者数	10,829	9,604	8,258	7,199	6,223	-97.6
死者数	112	87	100	86	87	+1
負傷者数	10,717	9,517	8,158	7,113	6,136	-97.7



## (2) 交通死亡事故の特徴

- 高齢者が6割以上を占める  
高齢者の死者数は57人→65.5%
- 交通弱者（歩者・自転車乗者）が4割を超える  
交通弱者の死者は39人（歩者25人・自転車乗者14人）→44.8%
- シートベルト非着用者が5割を超える  
四輪乗車中の死者35人中、シートベルト非着用は19人→54.3%  
シートベルトを着用していれば助かった死者は12人と推定
- 飲酒運転によるものが3件  
前年と比べ2件減少したものの、いまだ根絶に至っていない。

## 2 抑止対策

## (1) 重点4Sプラスワン対策の推進

- 高齢者の交通事故防止対策 (Silver)
  - シートベルト着用促進対策 (Seatbelt)
  - 飲酒運転根絶対策 (Sake)
  - 速度抑制対策 (Speed)
  - 歩行者の交通事故防止対策 ----- プラスワン
- } 4 S



【高齢者宅の訪問指導】



【自転車の交通安全教育】



【通学路の交通安全指導】

## (2) 日を定めた取組の強化

- 『自転車安全対策強化日』（セフティ・バイク・デー）  
～毎月第1月曜日
- 『高齢者の交通安全の日』（セフティ・シルバー・デー）  
～毎月21日
- 『シートベルトの日』～警察署ごとに毎月設定
- 『横断歩道“SOS”の日』～毎月11日  
(S) さわやかな・(O) 横断で・(S) スマイル

## テロの未然防止に向けた取組と 大規模災害等緊急事態に備えた対策の推進

### 1 テロの未然防止に向けた取組

テロ対策パートナーシップを始めとする官民一体となった取組の推進



テロ対策合同訓練



テロ対策に関する研修会



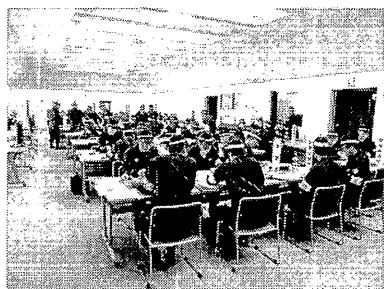
広報啓発活動



不審購入者の来店を想定した訓練

### 2 大規模災害等緊急事態に備えた対策

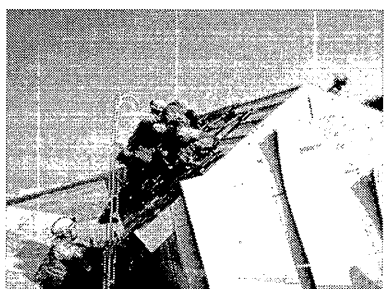
大規模災害の発生に備え、対処能力向上のための取組の推進



警察本部における図上訓練



装備資機材の取扱習熟訓練



平成30年度広域緊急援助隊合同訓練



平成30年度大規模津波防災総合訓練